

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種 | 景気の先行きに対する判断理由 |
|----------------|---|--|--|
| 家計 動向 関連 | 良くなる やや良くなる | スーパー（統括担当） | ・来客数が前年比で108%程度伸びている。単価は95%くらいであり、売上そのものは伸びていないが、来客数の伸びは将来の売上増が期待できる。 |
| | | 衣料品専門店（経営者） | ・今秋、中心商店街に大型商業施設のオープンが予定されており、商店街への客の回帰に期待している。 |
| | | 家電量販店（営業担当） | ・客単価については依然低いままであるが、来客数が前年より5%ほど上昇しており、それにつれて売上の方も多少良くなってきている。 |
| | | 乗用車販売店（営業担当） | ・10月に軽自動車の新型車を発売する。ガソリン代が高騰している今、軽自動車に移行するユーザーが増えてくるのではないかと期待している。 |
| | | 旅行代理店（従業員） | ・10月、11月の団体旅行の相談が増えてきている。景気の回復とともに旅行需要は増えている。個人ではシルバー層を中心に海外旅行への関心が強く、旅行相談に来店している。 |
| | | ゴルフ場（従業員） | ・2、3か月先の予約は確保している。 |
| | 変わらない | 商店街（代表者） | ・新しいテナントが空き店舗に入るなど、明るい兆しが若干みえるが、急激に上昇するようなことはない。 |
| | | 商店街（代表者） | ・通行量の減少に歯止めが掛かっていない。来街者がいないと売上にはつながらない。 |
| | | 一般小売店〔酒類〕（経営者） | ・11月に市議選挙があり、飲食店への客足が若干遠のく。 |
| | | 百貨店（営業担当） | ・本当に必要な物以外は買わないという傾向が、更に強くなっている。 |
| | | 百貨店（営業担当） | ・催事関連は好調に推移した。ファッション関連のマークダウン商品については好調だったが、後半は例年に比べ来客数、売上ともに低調であった。ブランド商品群は、ブランドにより好不調ははっきりしている。 |
| | | 百貨店（売場担当） | ・賞与時期前後の雑貨の動きにも目立ったものはなく、ぜいたく品まで消費が拡大するのは時間が掛かる。 |
| | | 乗用車販売店（従業員） | ・ガソリン代の高騰で軽自動車が大きく販売を伸ばしている中、普通車は苦戦が続いている。全く景気が回復したとは思えない。 |
| | | 乗用車販売店（従業員） | ・ガソリンの価格が下がらなければ良くはならない。 |
| | | 任関連専門店（経営者） | ・販売量が毎月、前年を下回るという状態が続いている。 |
| | | 一般レストラン（経営者） | ・安いと思えるものしか注文しないし、予算以上のものは注文しない。 |
| | | 観光型旅館（経営者） | ・9月、10月の予約状況はあまり良くない。今より良くなる状況にはない。 |
| | | 都市型ホテル（経営者） | ・予約数は多くなっているが、規模や単価は、小さくなっており、景気としては変わらない。 |
| 通信会社（営業担当） | ・番号ポータビリティを控えて、先行き不透明である。 | | |
| 観光名所（経営者） | ・10月、11月は、一番の繁忙期であるが、今年に入って各月、前年比10%前後減少しているため、大変不安感を持っている。 | | |
| 設計事務所（所長） | ・中期的には高齢者の居住施設が有望であるが、短期的には、成長する分野は今のところ見当たらない。 | | |
| 住宅販売会社（従業員） | ・長期固定の住宅ローン金利はそれほど大きく変わっておらず、受注量等は大きくは落ち込まない。 | | |
| やや悪くなる | 一般小売店〔生花〕（経営者） | ・昔は客にお百姓さんが多く、刈り入れや農繁期が終わると、いろいろな催し物があったりして生花も売っていたが、最近あまり期待できない。 | |
| | スーパー（予算担当） | ・原油高騰の影響で、物流コストにも影響が出始めており、商品あたりの重さなどを調整して販売価格を抑えることのできる生鮮食品など以外は全体的に原価高になる。 | |
| | 衣料品専門店（経営者） | ・原油高騰による影響で物価が上昇し、買い控えが始まっている。 | |
| | 乗用車販売店（管理担当） | ・銀行からの金利引上げ要請もあり、企業業績は落ち込みが早い。 | |
| | その他専門店〔CD〕（店員） | ・原油価格の高騰によって物価が上昇し、景気に悪影響を与える。 | |
| 悪くなる | | ○ | ○ |

| | | | |
|----------------|----------------|------------------------------------|---|
| 企業 動向 関連 | 良くなる | 木材木製品製造業（経営者） | ・原材料や副材料の価格が上昇しつつあり、それに伴って、販売価格も上昇する。また新製品が、9月、10月と立ち上がっていき、売上の増加が見込まれる。 |
| | やや良くなる | 通信業（営業担当） | ・システム提案に伴い、イニシャルコストを説明する際、金額に関する質問より品質、スペック等に関する質問が多くなってきた。 |
| | | 通信業（支店長） | ・番号ポータビリティ開始後、市場が活性化する。 |
| | | 広告代理店（経営者） | ・新規設備導入に関する受注が決まり始めた。大手企業の景況も良くなってきたため、フリーペーパーなどの部数も増えてきており、受注は増加傾向にある。 |
| | 変わらない | 一般機械器具製造業（経理担当） | ・九州南部と山陰地区の豪雨災害に伴う復旧工事の関係で、仕事量も当面確保されており、稼働率は今後とも高水準を維持する。 |
| | | 建設業（経営者） | ・災害復旧工事待ちでは見通しも立てられない。 |
| | | 輸送業（支店長） | ・案件がまとまってこれからという時に、燃料の軽油の値上げがあり、帳消しとなる。 |
| | | 金融業（融資担当） | ・今後とも、公共工事の受注が回復する見込みがなく、厳しい状態は続く。 |
| | | 広告代理店（経営者） | ・広告費現状維持あるいは削減の話が多いが、制度変更等により携帯電話関係の広告費は増加の見込みであり、全体としては変わらない。 |
| | | 公認会計士 | ・経営者の客から「本当に世の中の景気はいいのだろうか」、「また「不動産は本当に上昇するのだろうか」という質問が非常に増えている。また、銀行の金利が上昇することに対して強い警戒心を持っている。以上のことから、景気が格段に良くなるとは考えにくい。 |
| やや悪くなる | 電気機械器具製造業（経営者） | ・得意先からの受注量に減少傾向がみられる。 | |
| | 建設業（総務担当） | ・大型工事の案件が少なく、採算もとれにくく、大幅な減収・減益が続く。 | |
| | 不動産業（経営者） | ・不動産業者あるいは建売の会社等の受注が非常に悪くなっている。 | |
| 悪くなる | — | — | |
| 雇用 関連 | 良くなる | — | — |
| | やや良くなる | 人材派遣会社（支店長） | ・求職者が派遣以外で仕事に就くケースが増え始めている。 |
| | | 民間職業紹介機関（所長） | ・香川県内の求人数は製造業を中心に着実に増加しており、今後も良い人材であれば採用したいという企業が増えてくる。 |
| | 変わらない | 学校〔大学〕（就職担当） | ・求職者の活動の鈍さの問題もあるが、新卒採用担当者からも積極的な採用意欲がうかがえない。 |
| | やや悪くなる | 求人情報誌製作会社（編集者） | ・東京などの景気の高揚をうけて、「愛媛に帰って働こう」より「愛媛から出て東京等でごんばってみたい」という人の方が増えている。ある就職サイトの「愛媛で営業職」希望者は、この半年で15%程度減少している。 |
| | | 職業安定所（職員） | ・求人は増えないが、求職者は着実に増加しており、求人倍率も低下を続けている。配偶者の収入低下などにより、家計を補助しようとする動きも増加している。 |
| 悪くなる | — | — | |